

しなののうた

獅子舞の鬼気迫りきて
縋れるを茫茫浮かぶ母の温もり

l.MI

杉田小百合

しなののうた

境内に露天並びてあれこれを迷える孫とぼんぼを買う

杉田小百合



しなののうた

小遣いを握りて子らは品定め店のぞきつつ綿あめ買いぬ



杉田小百合

しなののうた

世に連れてさま変わりする秋祭り花火ひととき境内賑わす

杉田小百合



しなののうた

急ぐぎに鳥の一団過ぎ去ればつるべ落としの闇の迫りき



杉田小百合